

# 比較研究の

国立大学附置研究所・  
センター長会議第3部会シンポジウム

# 小論しみ

2013年

参加無料  
**10月4日(金)**

**13時～15時40分**

会場：北海道大学学術交流会館小講堂

国立大学附置研究所・センター長会議第3部会に集まる人文・社会科学系の研究所・センターの研究の中では、地域研究（外国研究）が大きな比重を占めています。一つの国や地域を深く研究することが地域研究者の主な仕事ですが、中に入り込み過ぎると、その地域の独自性や他地域との共通性が見えにくくなる場合があります。そこで有効なのが比較研究です。このシンポジウムではさまざまな分野で比較研究の第一線で活躍する研究者を集め、地域間比較によって何が見えてくるのか、その醍醐味や意外性を語り合います。

報告

藤原 辰史 京都大学人文科学研究所  
「第一次世界大戦の共同研究——その比較史的課題」

黒木 英充 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
「地域を股にかける人々を比較して  
——レバノン・シリア移民研究の地平」

田畑 伸一郎 北海道大学スラブ研究センター  
「ロシアと中国とインドの経済を比較したら  
何が分かったか？」

コメント

林 行夫 京都大学地域研究統合情報センター



北海道大学 スラブ研究センター  
<http://src.h.slav.hokudai.ac.jp/>



〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目  
TEL 011-716-2111 (代表) 011-706-2388 (直線)  
FAX 011-706-4952